

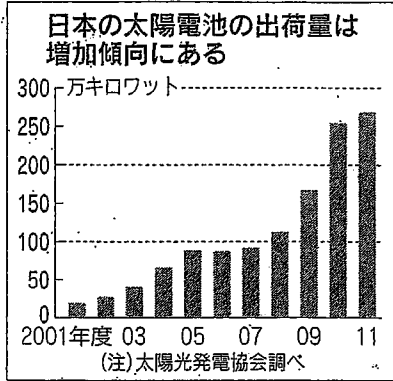
2012年(平成24年)8月1日(水曜日)

# LPG販売のサイサン

# 青森にメガソーラー

## 来夏メド稼働 東北電に全量売電

液化石油ガス(LPG)販売のサイサン(さいたま市、川本武彦社長)は太陽光発電事業に参入する。まず青森県六ヶ所村に大規模太陽光発電所(メガソーラー)を設置し来夏をメドに稼働させる。青森県は再生可能エネルギーを成長の柱と位置付け様々な支援事業に取り組み。同社は同エネルギーの固定価格買い取り制度開始を受け、採算性が合つと判断した。



太陽光発電所の建設・運営やコンサルティングを手がける森和エナジー(東京・千代田)と共同で事業化する。建設予定地は、大規模風力発電所や石油備蓄基地などのエネルギー関連産業が集積する「六ヶ所村次世代エネルギーパーク」。国や青森県などが出資し、同

建設予定地の敷地面積は約50万㎡で、10月をメドに着工する。投資額は7億〜8億円になる見通し。予定出力は約2000キロワットで、年間発電量は約200万キロワット時になる

見通し。発電した電力は全量、東北電力に売却する計画だ。同社がメガソーラーを建設・運営するのは初めて。主力のLPG販売のほか、家庭・業務用に太陽光発電機器などを販売しており、取り扱うエネルギーを多様化させて収益基盤を向上させる狙い。六ヶ所村のほか、現在7道県の十数カ所でメガソーラーの建設検討を進めている。六ヶ所村を皮切りに、今後は年間数カ所でメガソーラーの建設を目指す。

サイサンの2011年8月期の売上高は512億円。LPG事業では11年に愛知県に拠点を設けて営業地域を拡大した

り、双日グループからベトナムのLPG合弁会社の経営権を取得したりして販売を伸ばしている。固定価格買い取り制度の開始を受け、サイサンのようにメガソーラーに参入する企業が増え、太陽電池の出荷量も増加傾向にある。